

森林づくり県民講習会の開催

(公社)福島県森林・林業・緑化協会

当協会では、平成26年7月3日(木)午後1時30分より福島市の杉妻会館において、「海岸防災林再生等復興支援事業」の一環として、森林づくり活動を行っているボランティア団体や、今後、森林づくり活動への参加を考えている県民約50名の参加を得て、森林づくり県民講習会を開催しました。

本講習会は、放射線の基礎知識を勉強していただくとともに、野外において空間線量計を用いた空間線量測定実践を通して、地域環境を再確認することにより、森林づくりや森林整備への参加意識の向上に資することを目的としたものです。

放射線の基礎知識に関する講演は、福島県立医科大学災害医療総合学習センター副センター長の医学博士熊谷敦史先生を講師にお迎えして、「福島の現状での生活における放射線リスク」という演題で講演いただきました。

講演の内容は、放射性物質に関する基礎知識と県民が抱いている放射能に対する不安に対処されたもので、約90分間にわたり丁寧に説明していただきました。



次に、福島県農林水産部森林保全課の担当者から、県民の森で実施した森林除染の実例から「空間線量の測定と森林除染について」の報告を受け、その後、全員阿武隈川の河原に移動し、NaIシンチレーション式サーベイメーター（以下、線量計という）を用いて空間線量測定方法について実践指導を受けました。

参加者は、線量計を手に取り裸地と草地の線量の違い、高さによる線量の違いを確認しながら最後まで熱心に勉強されていました。本講習会は、当初予定した時間を超過しましたが、盛会のうちに終了しました。

